

# 取扱説明書

## コントロールユニット

このたびは当社製品をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。  
お求めの製品を正しく安全にご利用いただくため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読み  
いただきますようお願いいたします。

当説明書は下記製品の共通取扱説明書です。ご購入の製品をご確認ください。

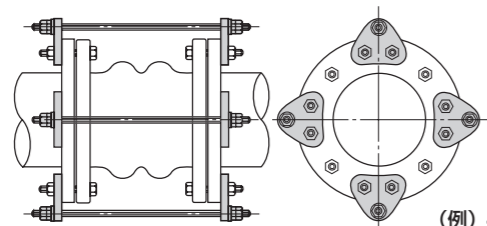
- ◇1. ゴム製フレキシブル継手
  - Wタイプ (溶接) ■BPタイプ (バックプレート) ■Uタイプ (新型溶接)
- ◇2. ゴム製可とう伸縮継手
  - BPタイプ (バックプレート) ■溶断・溶接・新型溶接タイプ (但し、5K・10K・上水フランジのみ)
- ◇3. フッ素樹脂製フレキシブル継手
  - BPタイプ (バックプレート)

この取扱説明書は工事終了後、保守点検管理ご担当者に必ずお渡しください。なお、当社製品に関  
するお取扱い上のご質問・ご相談などがございましたら、最寄りの営業所までお問い合わせください。  
※当取扱説明書は、予告なく内容を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

### 株式会社 TOZEN

東日本事業所：東京都台東区池之端 1-2-18 TEL(03)3824-2091(代) FAX(03)3824-2115  
仙台出張所 TEL(022)288-2701(代) 札幌出張所 TEL(011)518-8170(代)  
西日本事業所：大阪府大阪市西区北堀江 1-5-14 TEL(06)6578-0310(代) FAX(06)6578-0312  
名古屋出張所 TEL(052)243-2092(代) 福岡出張所 TEL(092)511-2091(代)  
URL <http://www.tozen.info/> Email [gr.info@tozen.co.jp](mailto:gr.info@tozen.co.jp)

### BPタイプ (バックプレート)

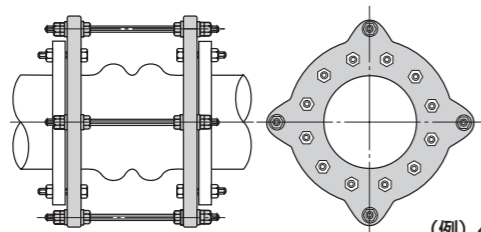


付属品：・三角プレート  
・長ボルト  
・ナット  
・平座金  
・ゴムブッシュ(※)  
※用途等により付属しない場合があります。

相手配管のフランジボルト穴を利用した三角プレートタイプ

### 溶断タイプ・Wタイプ (溶接) ・Uタイプ (新型溶接)

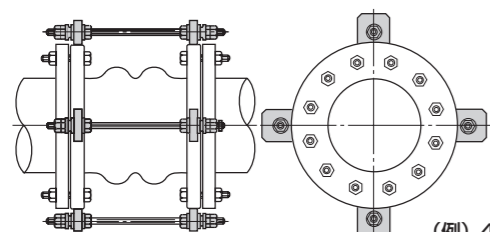
#### ■溶断タイプ



製品のフランジにプレートが  
一体となっているタイプです。

(例) 4点支持

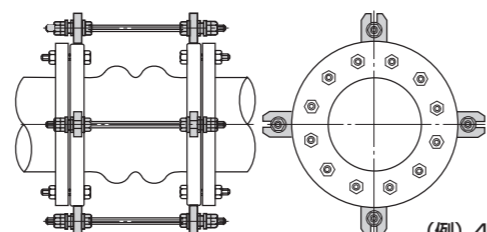
#### ■Wタイプ (溶接)



(例) 4点支持

製品フランジにプレートを直接溶接したタイプです。

#### ■Uタイプ (新型溶接)



(例) 4点支持

狭いスペースでも施工が簡単で、脱着が容易なタイプです。

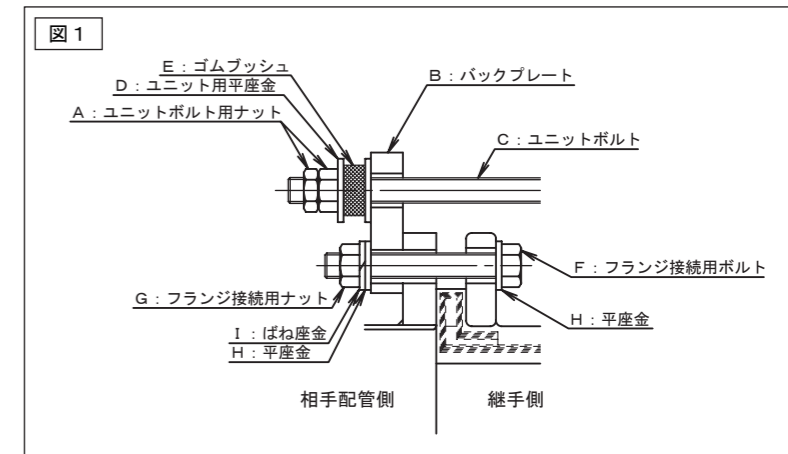
### ☆ BPタイプ (バックプレート) 図1 ◇1.◇2.◇3共通

#### 1. 【取付け方法】

- 1-1) 継手本体を相手側フランジにB：バックプレートを  
取付ける部分以外のボルト穴を使用して、F・G・H・I  
で仮止めします。
- 1-2) B：バックプレートを対角に相手側配管のフランジ外  
側にF・G・H・Iで仮止めします。
- 1-3) 仮止めしたF：フランジ接続用ボルト、G：フランジ  
接続用ナットを対角に規定の締代残まで均等に締付  
けます。
- 1-4) C：ユニットボルトをB：バックプレートに図1を参  
考にセットします。なお、E：ゴムブッシュが付属の  
場合には一緒に取付けます。

#### 2. 【面間調整】

- 2-1) 面間調整が不要な場合、配管施工後A：ユニットボ  
ルト用ナットからB：バックプレートまで緩みがないよ  
う締め込んでください。
- 2-2) 配管の伸縮を吸収したい場合、伸びの場合はA：ユ  
ニットボルト用ナットからB：バックプレートまでの  
隙間を+Xmm (※1) 確保してください。なお、縮  
み方向の場合のみは2-1と同様としてください。



※F・G・H・Iはお客様手配となります。  
(製品には含まれておりません)

(※1) X=(取付面間-製品規定面間)-製品許容伸縮量

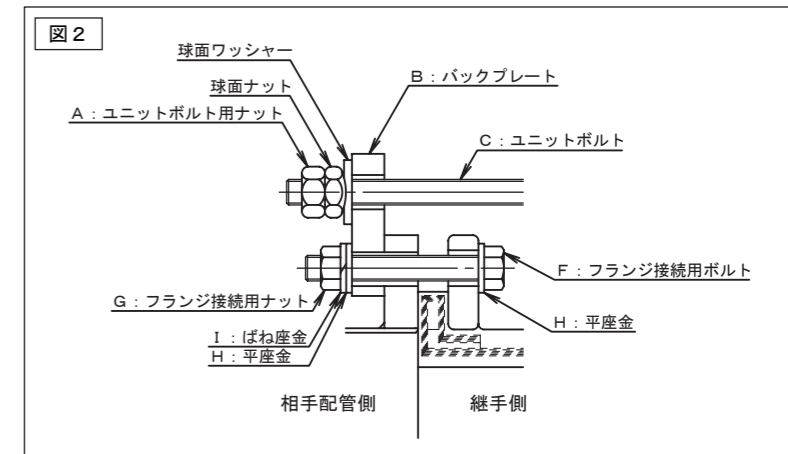
### ☆ BPタイプ (球面ナット使用) 図2 ◇1.◇2.◇3共通

#### 1. 【取付け方法】

- 1-1) 継手本体を相手側フランジにB：バックプレートを  
取付ける部分以外のボルト穴を使用して、F・G・H・I  
で仮止めします。
- 1-2) B：バックプレートを対角に相手側配管のフランジ外  
側にF・G・H・Iで仮止めします。
- 1-3) 仮止めしたF：フランジ接続用ボルト、G：フランジ  
接続用ナットを対角に規定の締代残まで均等に締付  
けます。
- 1-4) C：ユニットボルトをB：バックプレートに図2を参  
考にセットします。

#### 2. 【面間調整】

- 2-1) 通常の場合、配管施工後A：ユニットボルト用ナ  
ットからB：バックプレートまで緩みがないよう締め込  
んでください。
- 2-2) 配管の伸縮を吸収したい場合、伸びの場合はA：ナ  
ット、球面ナットと球面ワッシャーからB：バックプ  
レートまでの隙間を+Xmm (※1) 確保してくださ  
い。なお、縮み方向の場合のみは2-1と同様としてく  
ださい。



※F・G・H・Iはお客様手配となります。  
(製品には含まれておりません)

(※1) X=(取付面間-製品規定面間)-製品許容伸縮量

☆ 溶断・溶接・新型溶接タイプ 図3 ◇1.◇2.共通

1. 【取付け方法】

1-1) 継手本体を相手側フランジにF・G・H・Iで仮止めします。

1-2) 継手の面間と相手配管との距離が長い、もしくは短くフレキが取付けられない場合、BまたはEにて面間の調整をします。その際、フレキの許容変位量を超える調整は不具合が生じる要因となりますので許容変位量内での調整としてください。

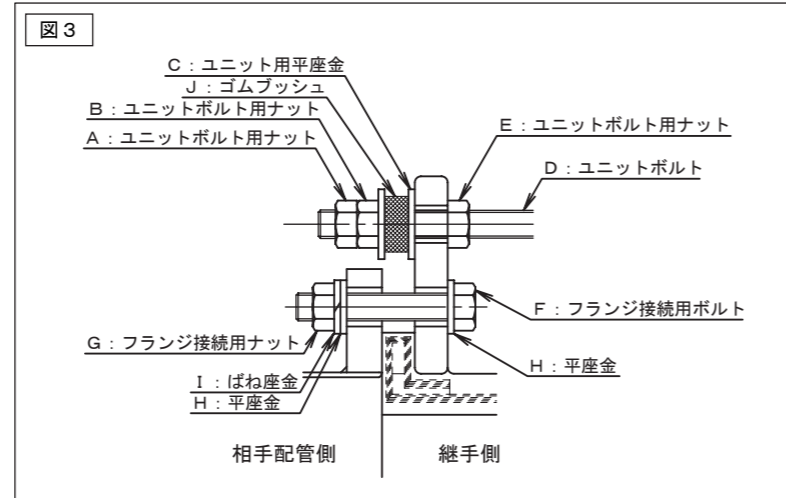
1-3) 仮止めしたF：フランジ接続用ボルト、G：フランジ接続用ナットを対角に規定の締代残まで均等に締付けます。

1-4) 締付け完了後、1-2の作業が発生した場合にはA・Bを取外すまたはEを緩め、順にC・B・Aを取付けます。なお、J：ゴムブッシュが付属の場合には一緒に取付けます。

2. 【面間調整】

2-1) 伸び止めの場合は配管施工後、Eはフランジより5mm以上緩めてください。A・B・C・Jは緩みがないよう締め込んでください。

2-2) 配管の伸縮を吸収したい場合、伸びの場合はB：ナットからフランジまでの隙間を+Xmm（※1）確保してください。



※F・G・H・Iはお客様手配となります。  
(製品には含まれておりません)

(※1)  $X = (\text{取付面間} - \text{製品規定面間}) - \text{製品許容伸縮量}$

☆ 溶断・溶接・新型溶接タイプ（球面ナット使用） 図4 ◇1.◇2.共通

1. 【取付け方法】

1-1) 継手本体を相手側フランジにD・E・F・Gで仮止めします。

1-2) 継手の面間と相手配管との距離が長い、もしくは短くフレキが取付けられない場合、AまたはBにて面間の調整をします。その際、フレキの許容変位量を超える調整は不具合が生じる要因となりますので許容変位量内での調整としてください。

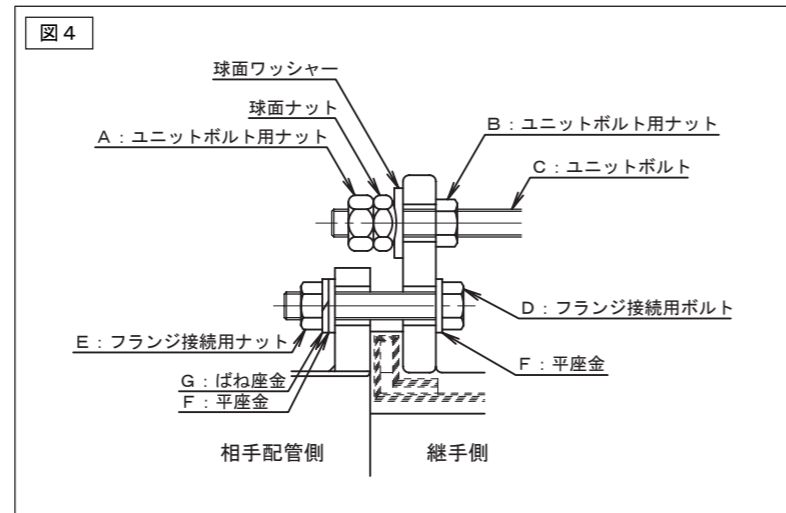
1-3) 仮止めしたD：フランジ接続用ボルト、E：フランジ接続用ナットを対角に規定の締代残まで均等に締付けます。

1-4) 締付け完了後、1-2の作業が発生した場合にはAを取外すまたはBを緩め、順に球面ワッシャー・球面ナット・A：ユニットボルト用ナットを取付けます。

2. 【面間調整】

2-1) 伸び止めの場合は配管施工後、Bはフランジより5mm以上緩めてください。A：球面ナット、ワッシャーは緩みがないよう締め込んでください。

2-2) 配管の伸縮を吸収したい場合、伸びの場合はA：ナットからフランジまでの隙間を+Xmm（※1）確保してください。



※F・G・H・Iはお客様手配となります。  
(製品には含まれておりません)

(※1)  $X = (\text{取付面間} - \text{製品規定面間}) - \text{製品許容伸縮量}$